

地区別意見交換会（湯西川地区） 記録（概要）

開催日時	令和元年9月24日(火)午前2時～ 午後3時06分		
開催場所	湯西川公民館		
出席議員	福田道夫(代表者)	齊藤正三	瀬高哲雄
	山越梯一		
参加者数	7 人 (傍聴者) 荒川礼子議員・山口栗山行政センター所長・八木澤湯西川地区センター所長他1名		
報告内容	地域のことを教えてください！		
市民意見		議員意見	
<p>もともと小さい集落が点々と集まったのが栗山村。高齢化になって免許証を返納し、出かけるときの交通手段がなくなっているという話がだいふ出ている。7～10軒くらいの集落が点々としているのでなかなか難しいと思うが、新しい組織を作って対応するなど、対策を考えてもらいたい。</p> <p>土呂部から湯西川に抜ける県道も日光土木事務所をお願いして今年で3箇所くらい少しずつだがやっている。補助金で造っていただいた林道がたくさんあるが、使えない林道もたくさんある。林道の整備をお願いしたい。</p>			
<p>以前、大雨で西川地区の県道の崩落があった。その時に西川～黒部線の拡幅工事をお願いしたが、費用がかかりすぎるためミラーやガードレールを設置していただいた。ほとんど側溝がないが、枯葉が入って掃除もできない状態。タイヤが落ちてしまうとうとうにもならない。電話も通じない。まだまだ、すれ違いができない箇所がある。日光医療センターが数年後に移転するという話があるが、急患が出た時には、できるだけ早く緊急措置がとれるようにしてほしい。湯西川地区にヘリポートを早く作ってほしいというのが切なる願い。</p>			
<p>西川のサッカー場が土日には盛んに使われている。片側の多目的広場の水はけが悪いので、早急に人工芝にしてほしい。</p> <p>西川の市営住宅付近の道路で、すれ違いができないところの整備をしてほしい。</p>			
<p>4年前に西川地区で道路の崩落があったが、災害時の緊急道路が湯西川に必要。平沢から三依に抜けられるようにしてもらえないか。トンネルひとつ開けてもらえば10～15分で国道につながる。市議会のテーブルにあげてもらいたい。</p> <p>公衆浴場がない。必要だという意見を聞いている。</p>			
<p>粗大ごみは、今市のクリーンセンターまで持ち込まなければならない。近くに放置してしてしまう状態を誘発している。月1回でもいいので、湯西川地区に回収に来るなど、湯西川で出せるようにしてほしい。</p>			
<p>日向のストックヤードが栗山地区の粗大ごみの集荷所になっているので、これを湯西川地区にも作ってほしい。湯西川地区は旅館関係の粗大ごみは1箇所、午前中に集荷、午後は日向で集荷しているようだ。</p>			
		<p>ゴミ処理場を新築するときに、地域に説明し了解をもらっているようだが、地域の意見として出して、議会で意見をまとめられれば執行部に意見書をあげることもできるので、考え方の一本化を図ることが大事。</p>	
		<p>確かに今市以外の人は遠くて持っていけない。年配の人は集荷所に持っていくだけでも大変。ストックヤードに持っていくだけでも車が必要。</p>	
		<p>結局、ゴミの不法投棄や野ざらしになってしまうので、粗大ごみも収集してほしいということ。</p>	
<p>高齢の人は重いものは持てない。湯西川にも集荷所があれば、近くの人が持って行ってあげられる。</p>			
		<p>地域で困ったことがあれば連合会で意見を一本化してこの地域で意見をまとめて上げれば。</p>	
		<p>その時は議会に要望書でもあげてください。</p>	
<p>要望書は作ります。</p>			
<p>ひととおり出された意見を先生方をお願いしたい。できてもできなくても、最初の土呂部の道路などの意見を聞かせてほしい。</p>			

開催日時	令和元年9月24日(火)午前2時～ 午後3時06分
開催場所	湯西川公民館
	結局、ゴミの問題と同じで、地域が求めているかどうかかわからないが、地域が求めることによって湯西川の力になっていくわけだから。個人の考えを持ってもなかなかその通りにはいかないと思う。
まとめられるように頑張ります。	
	ヘリポートの土地はありますか。
平沢という地区に途中まで建設をした形跡が残っている。なぜ中断したかわからない。	
	ここは、緊急時、どこヘリポートまで行くのですか。
西川のサッカー場まで。	
	西川までじゃまずいわけですね。
時間的な問題。緊急の時は、少しでも時間が短い方が。	
	ヘリポートを作るには条件がいろいろあるらしい。
平沢地区に砂利でちょっとした広場を作った。ヘリポートの準備をされていたが、砂利なので使えないということで途中で止まったままになっている。舗装や芝生にするなりしないと、場所的には候補地としてあった。	
	日光医療センターが土沢に移転すれば、15分から20分は違うことになる。
旧藤原町の方たちを集めて、壬生の獨協大学病院で2回くらい説明会をやったことを新聞報道で知った。	
藤原と栗山は、観光地だから近くに医療センターがないとまずいということで今の形でなるべく残してもらいたいという要望書を市に出した。規模は少し縮小しても、まあまあの医療体制ができる機能を残していただきたいという要望書である。	
説明会があることを知らなかった。あとからわかった。	
	向こうに行くという話しか決まっていない。
	再三、いろんな形で医療センターのあり方などの説明が市から議員にあるが、その際に地域の声を議員として発言される方もいらっしゃる。県がベースになって進めていることなので、県から市、また市から議員に入る情報も遅くなってしまう。地元の議員が新聞を見て知ったということもある。事が進む前に議会の方にも伝えてほしいということは事あるごとに話している。
	藤原の説明会をいつ頃やったのか知らないが、栗山地区に声がかからなかったということであれば、またそれに行政が絡んだということであれば、一言言う。獨協の移転先の土地は、日光市が取得して獨協医科大に進呈すると。寄付するのか無償で使わせるのかはわからない。市議会を通さずにしてその話は成り立たない。われわれの会派は、獨協医科大学が何の構想もなしにして藤原の施設を引き上げて移転するのなら土地の提供に反対しようという話をしている。その話を聞いた段階から藤原と栗山の議員はそれに対応するべく考えを持っている。
	藤原の説明会というのははっきりしていないからね。藤原地区にあるから地元の人に説明会をやったのだと思います。
	行政が絡んで藤原だけでやったというのであればそれはいかん。
	土地代だけで10億は出す。その他に求めてくる可能性もある。
いろいろ経過を見て、医療施設がなくなってしまうと、栗山地域の方やお客さんも心配で、泊まりに来た時に急病になって手当してくれる医療機関がないということになると、お客さんも安心して泊まりに来られない。観光的にも地域にもマイナス。出た話は地域一丸となって要望書を出すのが一番ということなのでこれは栗山地区全体でもいいし、湯西川地区だけのものだったら湯西川の自治会連合で要望書を出すということ。	
	免許返納で足がないというのは午前中の栗山でも。

開催日時	令和元年9月24日(火)午前2時～ 午後3時06分
開催場所	湯西川公民館
今日はセンター長もいるが、2日くらい前にセンター長が頑張ってくれて、地域振興課でいい案を持ってきてくれた。だんだんその方でやれるような気がしている。地域でこのような声があるということを議員さんの片隅においてもらえれば。それで補えない時はぜひ議会の方で議員さんのお力を借りてやれるような形にしていきたいということでお話をしたわけである。	
	湯西川のサッカーグラウンドは、夏など、市外や県外からの利用者は多いのですか。
夏休み期間中は、大会でいっぱいになっている状態。	
	もう一面を整備するというお話は結構前からいただいていたよな。
もう4～5年になる。いいところまでいった話は聞いたがその後がない。議会で決まったということだが、その話はこなくなった。	
	4年前に県議がその話をされて、ある程度前に進んで、市とも連携されているとお聞きしたが。
	議員でも執行部でもかっこいいことは前面に言う。下げるときは格好悪いから自然となし崩しになる。過疎地域自立促進計画の中に入っていて、いざやってみようとしたら莫大な金がかかる。その中で合併特例債も使ってしまった。これはできないのではないかという思いが募って今の過疎地域自立促進計画の項目から消えている。
進めるよという上で終わってしまったものだからこの後どうなるのかと。もう3年くらい経つ。	
	今の過疎計画の中では消えてしまったという感じ。議会の事務局は、振興計画の中に入っていないから構わないんだという考え方を示す。
	これは過疎債でできる予定だったのか、特例債ではないですよな。
	そこまで考えていなかったのではないか。それで足踏みをしてしまったのではないか。
湯西川に限らず、川治や鬼怒川も含めて年間4,000人～6,000人。単純にもう一面増えることになると倍になると考えれば、経済効果も出ると思う。振興計画の中に入らないとすれば、もう一度水の郷と私共で。	
	返事をもらってないわけですよな。
正式な回答はないのでは。 少しだけ湯西川のPRをさせていただく。地域一体となり、少ない予算の中で、百何十日間も独自のイベントをやって、手弁当で、資金も出さないで頑張っている。 8月5日に財政を確保する検討委員会があった。観光事業者だけを呼んで宿泊税と入湯税ありきで話が進んでいるように思える。ふるさと納税はもう少し魅力あるものを作ってもいいし、観光も協力すると思う。観光業だけでなく他の業界もあるわけだからみんなで財政を考えていくという方法で。	
	観光業にかかっている予算に入湯税、一般の市民の人の税金も入っている。これで一本になって観光が成り立っている。一般の人の税金が減ったり、市の財政が悪くなると、これが減る。減った分を、観光に特化した予算を確保しようということで入湯税をダブルでとるのか、宿泊税と入湯税をダブルで取るのか、これを検討しようということ聞いていた。この間の検討会では「ありき」ではないと言っていた。
観光だけの話になっちゃっていますからもっと幅広いところで行政は動いていただかないと。	
	今の観光業界の改革とか観光そのものを滞在型にしていかなければならないのではないかと。1,200万人来ているが、300万人しか泊まっていない。そのうち外国人は10万人しか泊まっていない。高山市は50万人も泊まっている。宿泊滞在型に力を入れるのには観光業界の強化をしなければならない。どこかの組織替えをしていかなければならないという話をしている儲けること、稼げることをまずやった方がいいということ。
観光客、また宿泊者が増えればその分入湯税が上がる。日光市は日本の数多い温泉地の中で入湯税の収入が3番目に多い。市の考え方はそれを理解していないように思える。	

開催日時	令和元年9月24日(火)午前2時～ 午後3時06分	
開催場所	湯西川公民館	
		京都は入湯税がないので宿泊税でやっている。稼げる観光ということでやっているの、今度提言をして行きたいと思う。
		日光地域の事業者の方からもお聞きしているので横の連携を密にして、執行部、議会、事業者の皆さまの対応を一致させて進めていかねばいけないと思う。
		ひと通り出していただいて、直接皆さんからご意見とか思いとかを聞かせていただいて、地域や自治会を通して要望をまとめていただくと市や議会の方の受け止め方も違ってくるのかなということで、その努力をお願いしたい。
		地域が徐々に衰退していることが非常に心配、地域にあったサービスがあるので、一律にしないでほしいという話があった。このことは、私たちも強く言っていきたい。
		地域の皆さんの声をしっかり吸い上げて、それを行政に伝えていくことが我々の仕事。日光市の各地域性をしっかりと把握し、それを市の事業とサービスにつなげていく。今回のお話を聞いてすごく感じたので、そのことを含めて仕事をしてまいりたい。
		要望があったときにしっかり後押ししてできるようにしていきたい。
【班としての総括・所感】 湯西川地区の意見交換会には、7名の方が参加されました。 地域が一体となり、少ない予算の中で、湯西川の観光PRや独自のイベントなどを手弁当で頑張っている意見がありました。 生活の面では、医療施設が遠くあり、救急時の対応や高齢者が自動車免許証を返納すると、交通手段がなくなり生活できないため、地域公共交通の拡充を求める意見、台風等による土砂災害などの対応について意見がありました。 湯西川地区のように、市の中心部から離れている地域には、その地域住民に合った市民サービスが必要です。施策など市民サービスを一律に当てはめるのではなく、地域の要望に沿った施策の必要性を感じた意見交換会になりました。		
【今年度の地区別意見交換会についての課題】 「意見交換会」に参加される方は、市と議会へ「要望」を持ち寄る企画と受け止めている方が多い。自治会役員中心にご案内するのでやむをえないが、テーマを改善する必要があると思います。		
<p>広報広聴委員長 様</p> <p>上記のとおり、報告いたします。</p> <p>令和元年12月20日</p> <p>第3班 代表者 福田 道夫</p>		